

浜街道（孝子越街道）その式は“自然”が主役

平安時代の承平5年(西暦935年)、『土佐日記』で有名な紀貫之が赴任先の土佐より京都に帰る途中、箱の浦を通りかかり

たまくしげ箱のうらなみ立たぬ日は
海を鏡とたれか見ざらむ

と詠んでいます。その場所は、現在の“せんなん里海公園”から箱作付近の海岸と思われます。今も波静かなこのあたりは、はるか淡路島や六甲山を見渡せ、美しい景色に心が癒されます。

大阪湾は、別名「茅渟(ちぬ)の海」と言われています。奈良時代に完成した『古事記』『日本書紀』には、神武天皇の東征の時、兄の五瀬命(いつせのみこと)が長髓彦(ながすねひこ)から負った矢傷を海水で洗ったことから「血沼の海」と呼ばれるようになったと記されています。



里海とは、大自然や荒々しい自然ではなく、半自然・中自然の里山のように人間が海とともにくらししてきた文化が色濃く残されているような、里と海辺を表しています。せんなん里海公園は穏やかな大阪湾を望む絶好のロケーションです。街道散策のついでにぜひお立ち寄りください。

イラスト：角田光和(阪南市在住)

この「はんなんマップ 悠歩みち」は、阪南市内で活動する市民団体や協力者の集まりである「阪南まちづくりネットワーク」の活動から生まれた「まちおこし夢テラス」が企画・制作し、教育委員会が発行したものです。阪南市に長く住みながら、このまちについて「知らないことが多い」「もっとこのまちを知りたい」「周囲の人にも知らせたい」という思いから、散策マップづくりを始めました。このマップを手には、昔のたたずまいが残る街道筋や街道脇の路地を歩き、また海岸や里山の自然に触れ、“新しい発見や出会い”を楽しんでいただきたいと思います。

このマップは文化庁の「文化遺産を生かした観光振興・地域活性化事業」を活用して作成しています。

お問い合わせは・・・阪南市教育委員会事務局 生涯学習推進室
TEL072-471-5678 (内線2342) e-mail:s-gakusyu@city.hannan.lg.jp

浜街道（孝子越街道）付近のみどころ

かいかけまつ
貝掛松の碑 かつてこの地に松の大木が生えていて、その松にまつわる伝説や貝掛の地名の由来が刻まれています。元は松と石碑は海岸近くであり、昭和の初めに現在の地に移されましたが、風化が激しく平成9(1997)年に地元の人々によって建て替えられました。碑文は明治30(1897)年9月播磨国(兵庫県)の近藤美という人物のものと記されています。

さしてのもり
指出森神社 もとは貝掛神社と称し、応神天皇を祀る八幡宮でしたが、天授年間(1375~81年)に火災に遭い、祭神を波太神社に移し、その跡地に小社を建てたと伝えられています。

すがわら
菅原神社 由緒は不詳。祭神は菅原道真、素戔嗚命(すさのおのみこと)。本殿は一間社流造(いっけんしゃながれづくり)の銅版葺。本殿の建立年代も明らかではありませんが、造作に安土桃山時代(16世紀末)の雰囲気を残しており、様式的にも下記の加茂神社本殿の流れを汲むものと考えられています。

かも
加茂神社 下荘地区は古代末から中世期にかけて京都の上賀茂神社の荘園でした。本社はその当時(社伝では弘仁4年=813年)に創建されたものと伝えられています。京都上賀茂神社を模して創建された檜皮葺(ひわだぶき)の本殿は安土桃山時代の建築で、石燈籠とともに昭和45(1970)年2月、大阪府指定有形文化財の指定を受けています。

そうふくじしそぼうさつざそう
宗福寺地蔵菩薩坐像 平安時代後期に作られた寄木造の地蔵菩薩坐像で、衣のひだは翻波様(ほんばよう)という技法が見られます。昭和6(1981)年6月、大阪府指定有形文化財に指定されています。

ゆうらい
遊来の滝 田山川の河口には珍しい“ヤマトオサガニ”等のカニが生息しています。河口から少し遡ると「遊来の滝」があり、田山川に沿って登っていく「田山川ハイキングコース」には、数カ所の滝も見られる。このハイキングコースは、廻石山(まないたいしやま)・旗立山・大福山・井間峠・雲山峰を経て山中溪に通じています。廻石山へは箱作駅から阪南スカイタウン(桃の木台)を経て登るルートもあります。

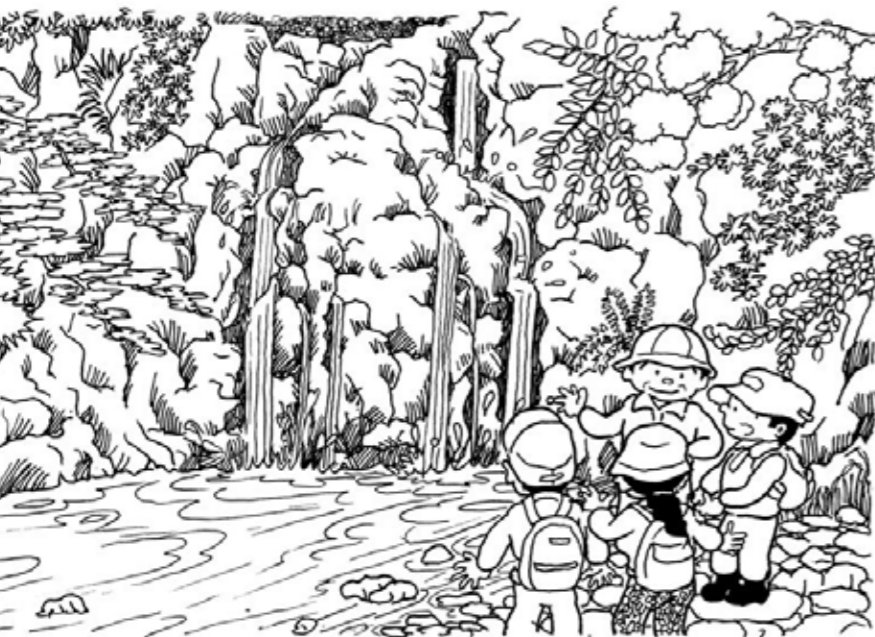
ヒトモトススキ 関東地方以西、四国、九州の海岸に群生する大型の多年草(カヤツリグサ科)。高さは2mにもなり、その鋭い葉は、イノシシさえも切る程だという意味で別名シシキリガヤともいいます。大阪府下でも以前は海岸沿いに多数見られましたが、現在では東大阪市と、本市箱作海水浴場付近に残るのみとなっています。平成17年3月、阪南市指定天然記念物に指定されています。

阪南市まちかど博物館 阪南市まちかど博物館は、地域にある伝統の技や個人のコレクションなどを紹介し、皆さんに親んでもらうため、館長さんの仕事場の一角や館長さんのお宅などを公開していただいているものです。見学に際しては、予約制であったり、公開内容に制約があったり等の制限があります。詳しくは、まちかど博物館の専用チラシをご覧ください。

○海産物の博物館~のり~(名倉水産) 072-472-1011
○音の博物館(喫茶店 音工房) 072-476-5505

まちかど博物館に関するお問い合わせは・・・
阪南市教育委員会事務局 生涯学習推進室まで

はんなんマップ 悠歩みち



企画・制作 まちおこし夢テラス
発行 阪南市教育委員会